第29回 花の国づくり共励会 花き技術・経営コンクール 受賞者の業績概要

令和2年3月

一般財団法人日本花普及センター

第29回花の国づくり共励会 花き技術・経営コンクール 受賞者一覧表

【農林水産大臣賞】

山下 徳弥 (やました とくや)

苗物・鉢物(パンジー、ビオラ、ポットマム、ペチュニア、ニチニチソウ、カリブラコア、ラベンダー、ダイアンサス、ハボタン、チューリップ等) 埼玉県川越市

【農林水産省生産局長賞】

古川 正敏(ふるかわ まさとし) 苗物・鉢物(ミニバラ、ハボタン、多肉植物、松盆栽) ハーバリウム 岐阜県瑞穂市

西三河農業協同組合デルフィニウム部会(代表 尾崎 満)

(にしみかわのうぎょうきょうどうくみあい デルフィニウムぶかい) **切り花(シネンシス系デルフィニウム) 愛知県西尾市**

【一般財団法人日本花普及センター会長賞】

本多 博樹(ほんだ ひろき) **本多 洋子**(ほんだ ようこ) 切り花(キク) 長崎県島原市

第29回花の国づくり共励会 花き技術・経営コンクール

審査講評

第29回花の国づくり共励会花き技術・経営コンクール受賞者の皆様方には心からお祝いを申し上げます。花き技術・経営コンクールは、花の国づくり都道府県協議会などより推薦がありました経営体について、6名の審査委員により、提出された書類に基づく第1次審査と、現地での第2次審査を通して厳正に行われました。その結果、本共励会の最高賞である農林水産大臣賞には、次の経営体が選ばれました。

埼玉県川越市の山下徳弥氏は、鉢物・苗物生産の複合経営を営んでいます。昭和55年に就農し、父母が営む露地野菜経営に加え、キク類の鉢物生産を開始しました。昭和57年には秋出しパンジー・ビオラの花壇苗生産を、昭和60年にはセル成形苗を利用した花壇苗生産を開始しました。その後、施設を拡大することで平成20年頃には花壇苗と鉢物の周年出荷体制をほぼ確立し、平成26年に株式会社ヤマシタフラワーズを設立しました。取扱品目は、60品目の500を超える種数に及んでいます。

栽培面では、消費者の手元で良く咲く品物づくりを念頭に、武蔵野の落ち葉堆肥農法として日本農業遺産に指定されている手法で独自作成した堆肥に、牛糞、赤土、ピートモス、パーライトなどブレンドしたオリジナルの培養土を用い、各品目について栽培管理のマニュアルを作成することで、自動かん水設備、短日処理設備、薬剤散布を兼ねた細霧冷房設備を備えたハウスでの廃棄率を1%以内に抑えることを目標にしています。出荷・販売面では、市場や販売店との綿密な情報交換を行い、時代のニーズの把握を行いつつ国内外との新品種導入を種苗会社と連携して進めることで、時代を先取りした品種・品目の生産を行なっています。雇用面では、安心して働ける雇用管理と社員育成、裁量と責任を持たせる雇用管理、作業負担軽減と快適な職場環境づくりに配慮することなどで、働きがいのある職場づくりに努めています。

このように、苗物・鉢物生産経営において、創意工夫により安定した生産・販売を維持していること、環境に配慮した生産を実施していること、過去3年間において出荷数量、経営収支ともに安定していること、地域の花き生産振興に寄与していることなどが高く評価され、農林水産大臣賞にふさわしい花き生産の模範となる経営体であると判断されました。

農林水産省生産局長賞に選ばれました次の2経営体は、農林水産大臣賞に選ばれました経 営体に収益性、あるいは、経営の安定性の上で僅かに及ばないものの、以下に述べる点で高 く評価されました。 岐阜県瑞穂市の古川正敏氏は、鉢物・苗物生産の複合経営を営んでいます。大学卒業後、1年間の花き園芸研修を経て、昭和55年に父親の経営する有限会社新月バラ園に参画しました。平成4年には農事組合法人ハイタックスを設立してポットローズ生産を開始し、平成15年には有限会社新月バラ園の代表取締に就任しました。現在では、ポットローズを中心とした鉢花生産と商品性の高い多肉植物やハボタン生産で、販売額の向上を実現しています。栽培面では、自社育成品種の開発、オリジナル商品の作出を進め独自性の商品ラインアップを際立たせ、また、独自形状の商品を作出することでブランド化を図っています。出荷・販売では、国際フラワー&プランツEXPO(IFEX)やトレードフェアに独自出店し、多くの商品を企画、提案することで、ブランド化を図っています。また、インターネット販売にも取り組み、直接消費者の声を聴くことで自社の経営に反映させています。これらにより、注文率は75%を超え、特に正月向け商品は100%注文販売を実現しています。雇用面では、風通しが良く、社員が安心して働ける職場環境の改善に努めるほか、低温耐性品種、品目の選択を進めることや、ヒートポンプの導入、農薬使用量の最小限化と肥料成分の施設外流亡防止等、環境保全や省エネルギーに配慮しています。このように、苗物生産に安定した経営を実現し、鉢物・苗物に関わる商品づくりで需要に応えていることが評価されました。

愛知県西尾市の西三河農業協同組合デルフィニウム部会は、平成14年に発足し共同出荷 を開始しました。現在では、3名の部会員でデルフィニウムの安定生産や情報共有を目的と して活動しています。栽培面では、年間安定出荷に向けた取組として、定植日の細分化によ る年末出荷の安定、指導機関の協力を得て定期的なほ場巡回の実施、品種の集約、枯死株軽 減に向けた高畝栽培のほか、土壌診断結果の共有、ICT機器導入による栽培環境改善の実 施、ヒートポンプ導入による夜間冷房処理などで、生育遅延防止や品質の安定化を図ってい ます。出荷・販売面では、等級区分、階級別の保証枝数、輪数、草丈、箱入り本数、資材規 格などの数値化を定め、出荷量や品質の安定化を図っています。また、ゼブラ模様の湿式縦 箱を用いることで、市場セリ場での買参人へのアピールに役立っています。労働軽減や雇用 管理面では、作業のための移動式椅子や、ほ場及び作業所に休憩所を設置しています。また、 夏季高温期の作業軽減のための定植日の細分化や統一したフラワーネットを利用した作業工 程の標準化等の工夫をしています。環境面では、循環扇やヒートポンプを用いた効率的な加 温を行うほか、環境負荷軽減や持続可能な農業の実現に向けたハダニ類に対する生物農薬の 試験に取り組んでいます。このように、小人数ならではの強みを活かした取組を軸に、県内 でも高品質なデルフィニウムを安定出荷する体制ができていることが経営体として評価され ました。

一般財団法人日本花普及センター会長賞に選ばれました次の経営体は、以下に述べる点で評価され本賞に値すると判断されました。

長崎県島原市の本田博樹・洋子ご夫妻は、キクの切り花経営を営んでいます。平成6年の結婚と同時に就農し、両親と夫婦でキク栽培に取り組みました。その後、キク栽培の先進農家で研修を受け、平成15年には認定農業者となっています。また、平成16年には家族経営協定を結ぶとともに積極的な規模拡大と高規格ハウスの整備を行い、周年を通した安定的な出荷を行っています。栽培面では、自家育苗することで生育揃いの良い苗を生産し、高品質生産、出荷に繋げています。また、病害虫対策として毎作後の土壌消毒を講じています。出荷・販売面では、消費動向、消費ニーズ等の調査を行い、品質、草姿の改善に役立てたり、市場の要望に応じて黄色、赤色系の色物品種や花束用の短茎の商品を出荷したりして対応しています。雇用面では、わき芽取り労力の軽減のため無側枝性品種の導入や、自動換気装置、自動カーテン、自動かん水装置などの導入で施設の自動化による省力化を積極的に行っています。また、有機肥料を中心とした栽培と土壌分析結果をもとにした適正施肥、LED電照による光熱費の削減、防虫ネット、UVカットフイルムや忌避剤の導入にる農薬散布回数の低減等で環境保全や省エネルギーにも配慮しています。このように、キク切り花経営において安定した経営を実現し、地域農業の発展に貢献していることが評価されました。

平成元年度は、6月、8月の豪雨に続き、9月には台風15号、10月には台風19号、 更にはその後の豪雨に見舞われて日本各地で甚大な災害が相次ぎました。そのため、花きに 限らず多くの作物で生育不良や出荷への影響が懸念されました。そのような中で、今年度の 審査会において推薦のあった多くの経営体が、栽培技術の高度化により生産効率を高めると ともに、生産コストや環境負荷の低減に努める一方、消費者ニーズに合う品目・品種の選択、 オリジナル品種の育成、あるいはブランド品目の育成など、新しい需要の開拓に力を注ぎ、 着実な経営に腐心されていることに心強く感じました。

わが国の花き産業は、生産、流通、販売、行政などが一体となった取組のおかげでようやく復調の兆しが見え始めましたが、農業を取り巻く環境と同様に依然厳しい状況にあります。 このような中で、花き産業の健全な発展と心豊かな国民生活の実現に向けて、今後とも一層のご尽力を賜りますようにお願いし、審査講評といたします。

> 令和2年3月10日 審查委員長 腰 岡 政 二

【農林水産大臣賞】

山下 徳弥 埼玉県川越市 苗物・鉢物(パンジー、ビオラ、ポットマム、ペチュニア、ニチニチソウ、 カリブラコア、ラベンダー、ダイアンサス、ハボタン、チューリップ等)

山下徳弥氏は、昭和55年に就農。父母が営む露地野菜経営(ニンジン、ダイコン、サトイモ、ホウレンソウ等)に加え、露地でキク類の鉢物生産を開始した。また、高校卒業後全国各地の花壇苗、鉢物生産者を訪問し、栽培技術や作業手順を学び、昭和57年秋出しパンジー・ビオラの花壇苗生産を開始、昭和60年セル成形苗を利用した花壇苗生産を開始、以後、施設を徐々に拡大し平成20年頃花壇苗と鉢物の周年出荷体制をほぼ確立した。

平成26年に株式会社ヤマシタフラワーズを設立して笑子夫人と共同経営しており、また同年長男圭亮氏が、アメリカの大規模なプラグ苗・鉢花生産会社の農場で1年間研修した後経営に参画している。

栽培技術について特に工夫した点としては、お客様の手元で良く咲く品物づくりを念頭に、培養土は「武蔵野の落ち葉堆肥農法」として日本農業遺産に指定されている江戸時代から続く自家製の落ち葉堆肥に、牛糞、赤土、ピートモス、パーライトなどブレンドしたオリジナルの培養土を作っており、品目や栽培時期によって材料の配合割合や肥料の量を変え、各品目について栽培管理の要点をまとめたマニュアルを作成し、ハウスは全棟に自動かん水設備、短日処理設備、薬剤散布を兼ねた細霧冷房設備を備えており、栽培管理面で大きな失敗をすることなくほ場での廃棄率を1%以内に抑えることを目標にしている。また、計画的な作付けと栽培管理でハウス・露地の回転数を向上させている。

出荷・販売について特に工夫した点は、市場や販売店との綿密な情報交換を行い、時代の ニーズの把握を行いつつ国内外との新品種導入を種苗会社と連携して進めることで時代を先 取りした品種・品目の生産を行なっていることが車の両輪として機能している。

労働軽減や雇用管理等については、安心して働ける雇用管理と社員育成、裁量と責任を持たせる雇用管理、作業負担軽減と快適な職場環境づくりに配慮しており、給料、社会保障のみならず定期的な休日の設定による労働条件やほ場での作業負担や細霧冷房などの生産施設を活用した労働環境の改善を進めているほか、作業員に裁量を持たせることで働きがいのある職場づくりに努めており雇用確保が課題となっている農業経営での模範といえる。

当社の製品は、2019年春と秋のFAJポットプランツコンテストで数多くが特別賞を受賞した。また、山下氏は、令和元年度埼玉農業大賞 農業ベンチャー部門優秀賞、埼玉県花き技術・経営功績表彰を受賞しており、地元の自治会長、青少年を育てる地区会議副会長等を務めるなど地域での信望を集めている。



左から 山下 笑子 山下 徳弥 山下 圭亮 ハウスにて



ハウス外観



ハウス内作業の様子



ハウス内の生育状況

【農林水産省生産局長賞】

古川 正敏(有限会社新月バラ園) 岐阜県瑞穂市 鉢物(ミニバラ、ハボタン、多肉植物、松盆栽)、ハーバリウム

古川正敏氏は、大学卒業後1年間神奈川県園芸試験場において研修(花き園芸)を経て、昭和55年に父親の経営する有限会社新月バラ園(切り花)に参画、平成4年には農事組合法人ハイタックスを設立、代表理事に就任しポットローズ生産を開始した。

平成15年には、有限会社新月バラ園の代表取締に就任し、ポットローズを中心とした鉢花生産へと転換した。更に、花き業界全体に販売低迷が続いたことから、収益性の向上には花器まで含めた商品開発が必要と考え、エンドユーザーのディスプレースタイルまで考えた雑貨的花き商品の開発を手掛けた。これにより小売店や市場からの評価を獲得でき、平成20年以降、販売額は年々回復し、近年ではより商品性の高い多肉植物やハボタンの生産割合を増加することで、厳しい状況が続く中で販売額の向上を実現している。

栽培技術について特に工夫した点は、業界全体に販売価格の低迷が続く中で、より収益性の高い花き経営を確立するために、売れる品目、品種を積極的に導入してきた。特に自社育成品種の開発、オリジナル商品の作出を進め独自性の商品ラインアップを際立たせている。また、独自形状の商品を作出することでブランド化を図っており、従来大型であったツルバラの小型化栽培に成功し、この仕立てによる「ブリッジバード」は、平成17年全国花き品評会において農林水産大臣賞を受賞した。

出荷・販売について特に工夫した点は、国際フラワー&プランツEXPO(IFEX)や全国の市場で開催されるトレードフェアにも独自出店し、多くの商品を企画、提案し、ブランド化を図っている。また、新たな販売チャンネルを創出するためにインターネット販売にも取り組んでおり、直接消費者の声を聴くことで自社の経営に反映させている。これらのことから、現在注文率は75%を超え、特に正月向け商品は100%注文販売を実現している。

労働軽減や雇用管理等については、働きやすい職場環境づくりが生産性の向上に最も重要であり、クリエーティブな商品開発や作業手法改善のための発想の源泉となり得ると考えるため、風通しが良く、社員が安心して働ける職場環境の改善に努めている。環境保全や省エネルギーについては、低温耐性の強い品種、品目の選択を進め、ヒートポンプを始め環境に優しい制御機器の導入、農薬使用量を最小限に留めること、肥料成分の有効利用と施設外への流亡防止等に努めている。

古川氏は、明るく風通しの良い企業体を作り上げ、また、岐阜県担い手リーダーの活動に 積極的に取り組み、次世代の担い手育成についても寄与している。



作業場で関係者集合 (最前列右端 古川 正敏)



出荷作業風景



ハウス内作業風景

【農林水産省生産局長賞】

西三河農業協同組合デルフィニウム部会(代表 尾崎 満) 愛知県西尾市切り花(シネンシス系デルフィニウム)

西三河農業協同組合デルフィニウム部会は、平成14年9月に設立し、3名のデルフィニウム専作農家で構成される組織である。

所属する生産者は、もともとカーネーションを生産していたが単価の下落や輸入の増加などにより今後の経営に不安を感じていた。当時、デルフィニウムは流通も少なく、綺麗な青色を特徴としており、将来性が感じられる品目であった。そこで、生産者らはカーネーションからデルフィニウムに生産を切り替え、共同出荷を開始した。

栽培技術について特に工夫した点は、年間安定出荷に向けた取組として、定植日の細分化による年末出荷の安定、指導機関の協力を得て定期的なほ場巡回の実施、品種の集約(スーパープラチナブルー、スーパーグランブルーの2品種)、枯死株を少なくするため高畝栽培の実施のほか、土壌診断結果の共有、ICT機器導入による栽培環境改善の実施、ヒートポンプ導入による夜間冷房処理の実施により施肥改善、生育遅延防止、品質の安定化を図っている。

出荷・販売について特に工夫した点は、出荷規格について曖昧な表現を完全に排除し、等級区分、階級別の保証枝数、輪数、草丈、箱入り本数、資材規格などを厳格に数値で定め、これを各市場にも配布し、出荷量だけでなく品質についても年間安定を行っていくことをPRした。また、定期的に目揃え会を実施し、高品質なデルフィニウムを届けるゼブラ模様の湿式縦箱輸送を行い、市場でセリ場に上がっても買参人に一目でわかるようになった。

労働軽減や雇用管理等については、全戸が作業補助としてパート雇用を行っており、定植や整枝などの作業を委託している。これらの作業は腰を落とした作業を行うため身体への負担が大きい。このため、作業には移動式の椅子や、ほ場及び作業所に休憩所を設置して適宜休憩を取るように配慮している。また、夏季高温期の作業軽減のための定植日の細分化や統一したフラワーネットを利用した作業工程の標準化等の工夫をしている。

環境保全や省エネルギーについては、3名は全ほ場に循環扇を導入し、効率的な加温を行っており、2名はヒートポンプの暖房利用を行っている。また、環境負荷軽減や持続可能な農業の実現のためにハダニ類に対する生物農薬の試験にメーカー協力の下に取り組んでいる。

部会員は3名と少ないが、小人数ならではの強みを活かした取組を軸に県内でも高品質なデルフィニウムを安定出荷する体制ができており、希望者には、これまで培った栽培技術や手法を伝達し、生産の更なる拡大を希望している。



部会員集合写真 左から 部会長 尾崎 満、副部会長 新家 翔太、会計 鈴木 正篤



1

目揃え会の様子



デルフィニウムだけで作られた花束



湿式縦箱に入ったデルフィニウム

【一般財団法人日本花普及センター会長賞】

本多 博樹 本多 洋子 長崎県島原市 切り花(キク)

本多博樹氏・本多洋子氏は、平成6年に結婚と同時に就農、両親と夫婦でキク栽培に取り組んだ。平成8年には、福岡県八女地区の先進農家で9カ月間キク栽培の研修を受け、平成15年に認定農業者となっている。また、弘樹氏と洋子氏は、平成16年(平成30年6月19日改定)に農業経営改善、責任ある経営への参画、近代的な農業経営の確立、健康で明るい農家生活づくりを目的とする家族経営協定を結んでいる。

経営改善に当たっては、これまで県が推進する「産地パワーアップ事業」等を計画的に活用し、積極的な規模拡大と高規格ハウスの整備を行い、周年を通した安定的な出荷を行っている。

栽培技術について特に工夫した点は、火山灰の降灰対策として露地で行っていた親株栽培をビニール被覆栽培に変更して良苗生産に努めている。更に、全ての苗を自家育苗することで、生育の揃いが良い良苗を生産している。そのため本圃での生育の揃いも良く、高品質生産、出荷につながっている。また、毎年親株の更新を行い、系統分離による品質低下、開花のばらつきを抑えている。

その他、病害虫対策として毎作後の土壌消毒やハウス内への侵入害虫対策、ハウス内環境 の改善、切り花のボリュームアップ対策を講じている。

出荷・販売について特に工夫した点は、各地域のニーズに対応した時期、品種の出荷を行い、価格安定に努めている。品種は、「神馬」、「精の一世」を主体に栽培し、市場の要望に応じて黄色、赤色系の色物品種や花束用の短茎の商品を出荷している。物日の時期は組合全体で予約相対を結び、年に数回市場を訪問し、消費動向、消費ニーズ等の調査を行い、品質、草姿の改善に役立てている。

労働軽減や雇用管理については、無側枝性品種「精の一世」を導入、わき芽取りの労力を軽減している。また、自動換気装置、自動カーテン、自動かん水装置などを導入し、施設の自動化による省力化を積極的に行っており、全て直挿しにして定植を行い、育苗、定植作業の労力削減を行っている。雇用に当たっては、外国人技能実習生を受け入れ(平成31年3人)、安定した生産体制を整えている。環境保全、省エネルギーについては、有機肥料を中心とした栽培と土壌分析結果をもとに適正量の施肥を行い過剰施肥を防いでおり、電照を自熱球から蛍光球、LEDに交換することで光熱費の削減、防虫ネット、UVカットフイルムや忌避剤の導入によりハウス内への侵入害虫を減らすことで農薬散布回数の低減等を図っている。

博樹氏は、長崎県花き振興協議会きく部会副部長として県花き振興のリーダーであり、洋 子氏と共に農業経営・後継者の育成にも模範となっている。 #



左から 本多 博樹

本多 洋子



平成31年導入低コスト耐候性ハウス



「神馬」栽培状況



光合成促進のための炭酸ガス発生装置



ハウス内環境モニタリング画面

(参考資料1)

花の国づくり共励会 花き技術・経営コンクール受賞者一覧

回(年度)	受賞区分	都道府県	受賞者名	生産品目	備考
29回(令和元年度)	農林水産大臣賞	埼玉県	山下 徳弥	パンジー、ビオラ、ポットマム、ペチュニア、ニチニチ ソウ、カリブラコア、ラベンダー、ダイアンサス、ハボ タン、チューリップ等(苗物・鉢物)	
29回(令和元年度)	生産局長賞	岐阜県	古川 正敏	ミニバラ、ハボタン、多肉植物、松盆栽、等(苗物・ 鉢物)、ハーバリウム	
29回(令和元年度)	生産局長賞	愛知県	西三河農業協同組合デルフィニウム部会 (代表者名 尾崎 満)	シネンシス系デルフィニウム(切り花)	
29回(令和元年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	本多 博樹 本多 洋子	キク(切り花)	
28回(30年度)	農林水産大臣賞	愛知県	髙橋 成治	セダム、エケベリア等300種、グリーンネックレス	
28回(30年度)	生産局長賞	埼玉県	清水 秀一	ヘデラ、キヅタ、テイカカズラ等、緑化ユニット	
28回(30年度)	生産局長賞	大阪府	JA大阪泉州花卉生産出荷部会 (代表者名 奥 安則)	アイリス、グラジオラス、リアトリス、ユリ、ケイトウ、 フリージア	
28回(30年度)	生産局長賞	福岡県	南里 優 南里 美紀	コチョウラン	
28回(30年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	佐賀県	武富 政敏	トルコギキョウ、スィートピー、シンテッポウユリ	
28回(30年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	開田 浩幸 開田 陽子	カーネーション、コギク、ハボタン	
27回(29年度)	農林水産大臣賞	岐阜県	戸﨑 明	ュリオプスデージー、フランネルフラワー、ジャスミ ン、ブルーデージー、スノーサンゴ、ノボタン(鉢物)	
27回(29年度)	農林水産大臣賞	愛知県	藤目 方敏	キク、スプレーギク(切り花)	
27回(29年度)	生産局長賞	栃木県	角田 盛一	スィートピー、ヒマワリ、ユーカリ等(切り花)	
27回(29年度)	生産局長賞	埼玉県	須永 健司 須永 菜穂美	ガザニア、オステオスペルマム、ブルーデージー、 ゴールドコイン、ブラキカム、マーガレット、オキザリス、パンジー・ビオラ、マリーゴールド、ニチニチソウ、ペチュニア、アレナリア等(鉢物・苗)	
27回(29年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	佐賀県	德永 憲昭	コチョウラン(鉢物・苗)	
27回(29年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	森 敏朗森 千佳子	キク(切り花)	
26回(28年度)	農林水産大臣賞	愛知	曽田 義則	サボテン類、アロエ、エケベリア、カランコエ、クラッスラ、セダム、ハオルチア、ユーフォルビア等(鉢物)	
26回(28年度)	農林水産大臣賞	福岡	坂本 和盛	シクラメン、アジサイ、バラ(鉢物)	
26回(28年度)	生産局長賞	埼玉	篠 太一	ポインセチア、マリーゴールド、インパチェンス、ノー スポール(鉢物・苗物)	
26回(28年度)	生産局長賞	岐阜	白木 裕人	ヤブコウジ、ブルーベリー等(鉢物・苗物)	
26回(28年度)	生産局長賞	熊本	五蘭塾(塾長 中川圭太)	オンシジュウム、ファレノプシス、エピデンドラム、デ ンファレ等(切り花・鉢物)	
26回(28年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎	丸田 浩行	キク(切り花)	
25回(27年度)	農林水産大臣賞	埼玉	萩原 幸一	ケイトウ、ポインセチア、プリムラ、アップルゴーヤ、 縄文ネギ(鉢物・花壇苗)	
25回(27年度)	農林水産大臣賞	愛知	近藤 晴義	ガーデンバラ苗、ミニツルバラ(鉢物・花苗)	
25回(27年度)	生産局長賞	福島	佐藤 幸一 佐藤 朝子	シクラメン、アジサイ、ユリ、チューリップ、カーネー ション(鉢物)	
25回(27年度)	生産局長賞	佐賀	平田 憲市郎平田 志緒梨	カーネーション(切り花)	
25回(27年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	岩手	岩手ふるさと農協園芸部会りんどう専門部 (代表者 鈴木 喜一)	リンドウ(切り花)	
25回(27年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	広島	有田 隆則	パンジー、ビオラ、マリーゴールド、ペチュニア、ニ チニチソウ(花壇苗)	
25回(27年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎	お花屋さん百花園有限会社 代表 渡邊 徳昭	キク(切り花)	
24回(26年度)	農林水産大臣賞	岩手	新岩手農業協同組合 八幡平花卉生産部会 (代表者 高村敏彦)	リンドウ(切り花・鉢物)	第54回農林水産祭 天皇杯受賞
24回(26年度)	農林水産大臣賞	埼玉	朝見 良治	ガーデンシクラメン、ポットカーネーション、イベリス、ラナンキュラス、ペラルゴニウム、ポインセチア、ニチニチソウ、クロサンドラ、カラー、プリムラ等(鉢物・苗物)	
24回(26年度)	生産局長賞	愛知	梶 孝光	コギク(切り花)	
24回(26年度)	生産局長賞	福岡	豊田 武 豊田 千代子	キク、トルコギキョウ、アスター等(切り花)	
24回(26年度)	生産局長賞	長崎	前田 耕一 前田 綾子	シキミ等(切葉)	
24回(26年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	岐阜	島部 勝昌	エラチオールベゴニア(鉢物)	

23回(25年度)	農林水産大臣賞	山形	大築 義雅	ミニシクラメン、カーネーション、ハボタン、その他花	
	農林水産大臣賞		大築 実千代 フカヤスリーエフクラブ	苗(鉢物・苗物) ユリ(切り花)	
	生産局長賞	岩手	(代表者 関和勝宏) 坂戸 明夫	リンドウ(切り花)	
			坂戸 <i>手</i> ∃	アンスリウム、フィロデンドロン、アナナス類、カラテ	
23回(25年度)	生産局長賞	愛知	荒木 祥充 	ア、ヘリコニア, シダ類等(鉢物)	
23回(25年度)	生産局長賞	長崎	吉塚 正弘 吉塚 友子	カーネーション、ガーベラ(切り花) 	
23回(25年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	岐阜	高橋 明利 JAテラル越前キク部会	ガーベラ(切り花)	
23回(25年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	福井	(代表者 三浦慶昭)	コギク、リンギク(切り花)	
22回(24年度)	農林水産大臣賞	福島	有限会社矢祭園芸 代表金澤 善浩	カーネーション、シクラメン、シュウメイギク、プリム ラポリアンサ、プリムラマラコイデス等(鉢物・苗物)	
22回(24年度)	農林水産大臣賞	愛知	株式会社豊楽園 (取締役会長 斎藤豊治) (代表取締役社長 斎藤健治)	フィロデンドロン、フィットニア、プミラ、ワイヤープラ ンツ、シンゴニウム、ペペロミア等(鉢物)	
22回(24年度)	生産局長賞	福岡	花田 哲治 花田 泰子	バラ、ユリ(切り花)	
22回(24年度)	生産局長賞	沖縄	新垣 進	コギク(切り花)	
22回(24年度)	生産局長賞	石川	金沢市砂丘地集出荷場フラワー部会	ストック、切り花ハボタン、フリージア(切り花)	
22回(24年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	坂井 浩一郎	キク(切り花)	
22回(24年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	いわい東農業協同組合 花き部会小菊専門部	コギク(切り花)	
21回(23年度)	農林水産大臣賞	佐賀	小柳 誠五 小柳 一枝	ユリ(切り花)	
21回(23年度)	生産局長賞	神奈川	有限会社五領ケ台ガーデン (代表取締役 窪田敬一)	シクラメン、ニューギニアインパチェンス、ナスタ チューム、プリムラジュリアン等(鉢物)	
21回(23年度)	生産局長賞	愛知	稲垣 長太郎	カーネーション(切り花)	
21回(23年度)	生産局長賞	長崎	有限会社金原園芸(代表取締役 金原由紀男)	キク(切り花)	
21回(23年度)	生産局長賞	熊本	坂崎 改輝 坂崎 久子	シュッコンカスミソウ(切り花)	
21回(23年度)	(財)日本花普及センケー会長賞	埼玉	吉澤 明弘	シクラメン、ハイビスカス、オステオスペルマム、ビ オラ、クリサンセマム等(鉢物)	
21回(23年度)	(財)日本花普及センケー会長賞	福岡	牛島 博文	ガーベラ(切り花)	
21回(23年度)	(財)日本花普及センケー会長賞	岐阜	JAひだ花卉出荷組合 菊部会 (代表者 野谷智樹)	キク(切り花)	
20回(22年度)	農林水産大臣賞	埼玉	有限会社横川花園 代表取締役横川保次	ユリ、チューリップ、ギボウシ等(鉢物)	
20回(22年度)	生産局長賞	岐阜	河合 修	アルストロメリア(切り花)	
20回(22年度)	生産局長賞	福岡	安田 克徳 安田 節子	サカキ、花桃、ニュウサイラン、しめ縄、門松、松竹梅等(花木・枝物類)	
20回(22年度)	生産局長賞	長崎	山口 政則 山口 和代	カーネーション(切り花)	
20回(22年度)	(財)日本花普及センター会長賞		伊藤正規	シンビジウム、コチョウラン、ミルトニア(鉢物洋らん類)	
19回(21年度)	農林水産大臣賞	埼玉	塩原 茂夫	アジサイ、ポインセチア(鉢物)	
19回(21年度)	農林水産大臣賞	大分	有限会社お花屋さんぶんご清川 代表取締役社長 小久保恭一	リンギク(切り花)	第49回農林水産祭 天皇杯受賞
19回(21年度)	生産局長賞	宮城	石巻農業協同組合 花卉部会ガーベラ班	ガーベラ(切り花)	
19回(21年度)	生産局長賞	愛知	櫛田 倉司	リンギク(切り花)	
19回(21年度)	生産局長賞	大阪	梶本 定敏	ユリ、アイリス等(球根切り花)	
18回(20年度)	農林水産大臣賞	愛知	小松 英雄	アンスリーム(鉢物)	
18回(20年度)	農林水産大臣賞	福岡	浜野 重登 浜野 明美	バラ(切り花)	
18回(20年度)	生産局長賞	埼玉	安藤 貢	アガパンサス等(苗物)	
18回(20年度)	生産局長賞	岐阜	有限会社サンコフ	セントポーリア等(鉢物)	
18回(20年度)	生産局長賞	大阪	稲治 義彦	シャクヤク等(露地花き)	
18回(20年度)	生産局長賞	長崎	柴田 定實 柴田 富子	キク(切り花)	
18回(20年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	石井 克明	バラ(切り花)	
17回(19年度)	農林水産大臣賞	埼玉	黒臼 秀之	コチョウラン(鉢物)	
17回(19年度)	農林水産大臣賞	岐阜	吉田 正博	ガーベラ等(鉢物)	
17回(19年度)	生産局長賞	千葉	平野 圭祐	アンスリウム(切り花)	
17回(19年度)	生産局長賞	神奈川	加藤 悟	シンビジウム(鉢物)	

16回(18年度)	農林水産大臣賞	千葉	丸朝園芸農業協同組合 花卉部 (部長)飯高 重雄	サンダーソニア等(切り花)	
16回(18年度)	農林水産大臣賞	福岡	空閑 善実 空閑 桂子	パンジー等(苗物)	
16回(18年度)	生産局長賞	鹿児島	サンライズグリーンヒル 観葉生産組合 (代表者 福留 健一)	オーガスタ等(観葉植物)	
16回(18年度)	生産局長賞	愛知	伊藤 勝久	シクラメン等(鉢物)	
16回(18年度)	生産局長賞	長崎	立石 俊一	バラ(切り花)	
16回(18年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	澤瀬 一男 澤瀬 ロシタ	コギク等(切り花)	
16回(18年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大阪	樋口 喜善	パンジー等(苗物)	
16回(18年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	真子 徳幸	キク(切り花)	
15回(17年度)	農林水産大臣賞	埼玉	田島 嶽	ガーデンシクラメン(苗物)	
15回(17年度)	生産局長賞	群馬	小倉 文雄	シクラメン等(鉢物)	
15回(17年度)	生産局長賞	愛知	内藤 完次	バラ(切り花)	
15回(17年度)	生産局長賞	長崎	JA壱岐市花き部会 (代表者)下條利一	コギク等(切り花)	
15回(17年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	高木 兼雄	スパティヒィラム(鉢物)	
15回(17年度)	(財)日本花普及センター会長賞	沖縄	玉城 昌伸	キク(切り花)	
15回(17年度)	(財)日本花普及センター会長賞	沖縄	蔵下 良彦	キク(切り花)	
14回(16年度)	農林水産大臣賞	東京	八丈島農業振興青年研究会 鉢物部会 (代表者)大沢猛邦	フェニックス等(鉢物)	
14回(16年度)	農林水産大臣賞	岐阜	株式会社西垣園芸 西垣 正俊	オステオスペルマム(苗物)	
14回(16年度)	生産局長賞	宮城	株式会社ハニーローズなんごう (代表者)楢山 恒雄	バラ(切り花)	
14回(16年度)	生産局長賞	愛知	株式会社H&Lブランテーション 鵜飼 敏之 鵜飼 浩	パンジー等(苗物)	
14回(16年度)	生産局長賞	福岡	高橋 三千年 高橋 節子	バラ(切り花)	
14回(16年度)	生産局長賞	鹿児島	小村 幸一	パキラ等(観葉植物)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大阪	神藤 正和	ハボタン等(苗物)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大阪	谷嵜 隆雄	ハナモモ等(切り枝花木)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	尾崎 進一郎	シンビジウム(鉢物)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	松永 宏隆	ユリ(切り花)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	JA東長崎菊部会 (代表者)松尾 修一	キク(切り花)	
13回(15年度)	農林水産大臣賞	徳島	有限会社岸本農園 岸本 昇 岸本ときこ	ハイビスカス等(鉢物)	
13回(15年度)	農林水産大臣賞	鹿児島	有限会社南原農園 南原 武博	ジャスミン等(切り花)	
13回(15年度)	生産局長賞	岐阜	有限会社白木園芸 白木 和彦 白木ふさ子	レッドロビン等 (洋蘭・観葉植物)	
13回(15年度)	生産局長賞	佐賀	宮崎 憲治	スイトピー等(切り花)	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	JAひだ花卉出荷組合 益田支部 (代表者)中川 剛	キク等(切り花)	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	愛知	山田 則明	カーネーション等(切り花)	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	緒方 久幸	ガーベラ(切り花)く	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	西海菊出荷組合 (代表者)川内 通良	キク(切り花)	
12回(14年度)	農林水産大臣賞	愛知	石井 義明	アルストロメリア(切り花)	第42回農林水産祭 内閣総理大臣賞受賞
12回(14年度)	生産局長賞	埼玉	成澤 勝司	マリーゴールド(苗物)	
12回(14年度)	生産局長賞	鹿児島	柴嵜 喜好	アイビー等(切り花)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	石川 正樹 石川 結花	ユリ(切り花)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	川端 芳彦 川端 葉子	ユリ等(切り花)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	稲田 良弘	コチョウラン(鉢物)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	小西 幸彦	マツ(盆栽)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	徳永 健史	コチョウラン(切り花・鉢物)	

11回(13年度)	農林水産大臣賞	埼玉	小林 滋幸	カランコエ((鉢物)	
11回(13年度)	農林水産大臣賞	長崎	JA北高電照菊研究会 (代表者)大谷 虎次	キク(切り花)	
11回(13年度)	生産局長賞	埼玉	田中勲	シクラメン等(鉢物)	
11回(13年度)	生産局長賞	岐阜	河野 鉄博河野 常子	ラナンキュラス等(切り花)	
11回(13年度)	生産局長賞	愛知	林 富造 林 房子	シンビジウム(鉢物)	
11回(13年度)	生産局長賞	佐賀	菖蒲 正行	トルコギキョウ等(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	中辻 栄治	キク(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	広島	石田 律恵	レースフラワー等(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	阿部 雅志	シンビジウム(鉢物)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	森 崇	バラ(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	高杢 義邦	ユリ等(切り花)	
10回(12年度)	農林水産大臣賞	岐阜	大西 隆	ミニバラ(鉢物)	第40回農林水産祭 天皇杯受賞
10回(12年度)	農林水産大臣賞	鹿児島	沖永良部花き流通センター (代表者)泉 貞吉	テッポユリ等(切り花)	
10回(12年度)	生産局長賞	群馬	林 康夫	シクラメン等(鉢物)	
10回(12年度)	生産局長賞	香川	農事組合法人香花園 (代表者)保坂重雄	カーネーション(切り花)	
10回(12年度)	生産局長賞	大分	有限会社メルヘンローズ (代表者)小畑和敏	バラ(切り花)	
10回(12年度)	生産局長賞	沖縄	玉城 哲弘	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	谷藤 幸子	リンドウ等(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	山梨	農事組合法人 白根フラワーコーポラティブ	インパチェンス等(鉢物)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	愛知	伊奈 義就	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	宮脇 孝	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	藤本 傳夫	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	中園 英治	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	江頭 富春	カーネーション等(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	鹿児島	富田 良成	バラ(切り花)	
9回(11年度)	農林水産大臣賞	埼 玉	奥富 良雄	チューリップ等(苗物)	
9回(11年度)	農林水産大臣賞	愛 知	角田 隆幸	ハボタン等(苗物)	第39回農林水産祭 内閣総理大臣賞受賞
9回(11年度)	農産園芸局長賞	宮城	宮城県南三陸農業協同組合 花き部会	キク(切り花)	
9回(11年度)	農産園芸局長賞	山梨	渡辺 喜市	サンダーソニア等(切り花)	
9回(11年度)	農産園芸局長賞	滋賀	小杉 長男	シクラメン等(鉢物)	
9回(11年度)	農産園芸局長賞	沖 縄	大城 清利	キク(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩 手	菅原 武男	リンドウ(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	栃木	田代 正行	カーネーション(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	埼 玉	木村 実	バラ(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長野	中村 元夫	ディフィニウム等(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈 良	吉川 公彦	キク等(花苗)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	朝海 常祐	キク(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	高尾 保徳	ゴールドクレスト等(花木)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	小嶺 敏博	コウチョウラン等(鉢物)	

8回(10年度)	農林水産大臣賞	岐阜	間宮 敏昭	ハイビスカス等(鉢物)	
	農林水産大臣賞	福岡	井上 茂之	トルコギキョウ等(切り花)	
	農産園芸局長賞		戸谷 武雄	シュッコンアスター(切り花)	
	農産園芸局長賞	静岡	服部 一夫	クルクマ等(鉢物)	
	農産園芸局長賞	京都	清水幸雄	ケンガイキク(鉢物)	
	農産園芸局長賞	長崎	鹿山雅勝	カーネーション等(切り花)	
8回(10年度)	(財)日本花普及センター会長賞	新潟	波邊 和芳	ユリ(切り花)	
8回(10年度)	(財)日本花普及センター会長賞	三重	松尾 廣文	シクラメン等(鉢物)	
8回(10年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉本 利郎	バラ(切り花)	
	農林水産大臣賞	宮 城	平間 久義とびあ浜松農業協同組合	ハーブ等(苗物)	第37回農林水産祭
	農林水産大臣賞	静岡	PCガーベラ販売部会	ガーベラ(切り花)	天皇杯受賞
	農産園芸局長賞	青 森	竹ノ原幸悦	カーネーション等(切り花)	
7回(9年度)	農産園芸局長賞	埼 玉	立石勝義	ポインセチア等(鉢物)	
7回(9年度)	農産園芸局長賞	福岡	南嶋精二朗	ベゴニア等(苗物)	
7回(9年度)	農産園芸局長賞	長 崎	本田 敏秀	カーネーション等(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐 阜	フローラぎふOKI	カランコエ(鉢物)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	月本 雅治	バラ(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	兵 庫	中岡 邦康	カーネーション(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大 分	市川 一清	スイートピー等(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	沖縄	渡久山 稔	キク(切り花)	
6回(8年度)	農林水産大臣賞	栃木	菱沼 軍次	シクラメン等(鉢物)	
6回(8年度)	農林水産大臣賞	静岡	大庭 孝史	パキラ等(観葉植物)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	埼 玉	新 博之	カランコエ等(鉢物)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	京都	寺内 一郎	パンジー等(苗物)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	福岡	大隈 博幸	バラ等(切り花)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	沖 縄	外間 勝義	キク等(切り花)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	宮城	斉藤 達義	シクラメン等(鉢物)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	群馬	小嶋 宏	バラ(切り花)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐 阜	安保 幹太	シンビジウム等(鉢物)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈 良	堀田 泰規	プリムラ等(苗物)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	高 知	広岡 稔	アイリス等(切り花)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	高 知	小池 龍善	キク等(切り花)	
5回(7年度)	農林水産大臣賞	岐阜	福田 誠	セントポーリア等(苗物)	
5回(7年度)	農林水産大臣賞	福岡	波佐間 廣美	ディフェバキア等(観葉植物)	
5回(7年度)	農産園芸局長賞	群馬	萩原 久雄	シクラメン等(鉢物)	
5回(7年度)	農産園芸局長賞	埼玉	千野 純一	インパチェンス等(鉢物)	
5回(7年度)	農産園芸局長賞	大分	飯田花き生産組合 (代表)時松 謙	バラ等(切り花)	
5回(7年度)	農産園芸局長賞	沖縄	宮平 憲勇	キク(切り花)	
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	宮城	手島 徹	シクラメン等(鉢物)	
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長野	金本 達夫	パラ(切り花)	
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	矢野 伸太郎	ストック(切り花)	
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	多田 護	ベニカナメモチ(植木)	
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	水田 義雄	キク(切り花)	

4回(6年度)	農林水産大臣賞	宮城	渡辺 俊	シクラメン等(鉢物)
4回(6年度)	農林水産大臣賞		金子 正	カラジューム等(鉢物)
4回(6年度)	農産園芸局長賞		中山 忠義	洋ラン(切り花・鉢物)
4回(6年度)	農産園芸局長賞		和佐野 喜代太	コチョウラン等(鉢物)
4回(6年度)	農産園芸局長賞		中江 広域	キク(切り花)
4回(6年度)	農産園芸局長賞		志賀 智貴	ユリ(切り花)
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞		木村 勇一	プラグ苗等(苗物)
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞		林一郎	ポインセチア等(鉢物)
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞		明崎 勝治	ダリア等(切り花・球根生産)
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	町田 一弘	スイトピー等(切り花)
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞		利田 正明	カーネーション等(切り花)
3回(5年度)	農林水産大臣賞	茨城	鈴木 隆	ホウズキ等(鉢物)
3回(5年度)	農林水産大臣賞	沖縄	亀谷 英雄	キク等(切り花)
3回(5年度)	農産園芸局長賞	秋田	三浦 康之	トルコギキョウ等(切り花)
3回(5年度)	農産園芸局長賞	群馬	小内 敬一	アジサイ等(鉢物)
3回(5年度)	農産園芸局長賞	埼玉	矢作 文夫	カトレア等(鉢物)
3回(5年度)	農産園芸局長賞	高知	山崎 廣美	ユリ等(切り花)
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	森島 衛樹	ハナショウブ等(切り花)
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉川 喜一	シクラメン等(鉢物)
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	広島	沖野 高人	(花木)
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	田代 恒夫	パラ等(切り花)
2回(4年度)	農林水産大臣賞	栃木	渡辺 武雄	コチョウラン等(鉢物)
2回(4年度)	農林水産大臣賞	静岡	渡辺 偉	クレマチス等(苗物)
2回(4年度)	農産園芸局長賞	岩手	畠山 正徳	リンドウ等(切り花)
2回(4年度)	農産園芸局長賞	群馬	大沢 憲一	バラ(切り花)
2回(4年度)	農産園芸局長賞	東京	浅沼 一治	フェニックス等(鉢物)
2回(4年度)	農産園芸局長賞	福岡	和佐野勝次	リンドウ等(切り花)
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	埼玉	町田 静吾	バラ(切り花)
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長野	竹内 栄一	バラ(切り花)
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	今村 喜和	キク等(切り花)
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉村 隆明	インパチェンス等(鉢物)
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大分	藤原 博文	キク(切り花)
1回(3年度)	農林水産大臣賞	岩手	猿子 恵久	アルストロメリア等(切り花)
1回(3年度)	農林水産大臣賞	埼玉	本多 忠夫	シクラメン等(鉢物)
1回(3年度)	農産園芸局長賞	栃木	菱沼 軍次	シクラメン等(鉢物)
1回(3年度)	農産園芸局長賞	群馬	坂本 正次	アジサイ等(鉢物)
1回(3年度)	農産園芸局長賞	長野	筒井 基博	シクラメン等(鉢物)
1回(3年度)	農産園芸局長賞	岐阜	河本 弘元	バラ(切り花)
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	静岡	岩倉 廣治	(観葉植物)
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	完岡 義清	カキツバタ(切り花)
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	広島	中本 博文	ハボタン等(苗物)
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大分	時松 謙	パラ等(切り花)

(参考資料2)

第29回花の国づくり共励会 花き技術・経営コンクール実施要領

1. 目 的

我が国の園芸の将来を担い、かつ国民生活に潤いと安らぎをもたらすものとして重要な 役割を担っている花きについて、生産分野の技術・経営の向上・発展を図ることを目的と する。

2. 開催団体

- (1) 主 催 一般財団法人日本花普及センター
- (2)後援農林水産省
- (3)協 賛 一般社団法人日本花き生産協会
 - 一般社団法人日本花き卸売市場協会
 - 一般社団法人全国農業改良普及支援協会

3. 出品資格

露地花きにあっては栽培面積が1ha以上、施設花きにあっては栽培面積が50 a以上の花き生産を主とする農業者等であって、技術・経営に優れ、地域社会に支持と共感を得ているものとする。

4. 出品方法

出品は、自薦、他薦を問わず、「花の国づくり共励会一花き技術・経営コンクール応募 用紙」に所定の事項を書き込み、それに基づく経営及び活動の記録等の必要な資料を添付 して提出する。

5. 審查方法

(1) 予備審査

一般財団法人日本花普及センターは、自薦、他薦を問わず応募用紙が提出された出品財について、書類審査等により本審査の対象となる出品財を選考する。

(2) 本審查

付属資料2の審査委員は、付属資料1の審査基準に基づき書類審査、必要に応じて現 地調査を実施して、公正な審査を行う。

6. 表 彰

(1) 特に優秀と認められた出品財に対して農林水産大臣賞(2点)、優秀と認められた出品財に対して生産局長賞(4点)、一般財団法人日本花普及センター会長賞(数点)をそれぞれ授与する。

- (2)農林水産大臣賞出品財は、国の定める「農林水産祭表彰要領」に基づき天皇杯等の選賞資格を有する。
- (3) 次に掲げる基準のいずれかに該当し、かつ経営主の配偶者の貢献度が高いと認められる場合にあっては、夫婦連名で表彰することができる。

但し、農林水産祭参加行事の農林水産大臣賞並びに生産局長賞に限る。

- ① 家族経営協定を締結していること。
- ② 推薦書等において経営主の配偶者の作業分担、従事日数等が概ね5割に達していると確認できること。
- ③ 農業改良普及センターなどの現場指導組織による意見書が添付されていること。 なお、推薦の段階で夫婦連名であるものについては、一般財団法人日本花普及センター会長賞についてもこれに準ずる。

7. 事 務 局

標記コンクールを実施するため、事務局を一般財団法人日本花普及センター内に設置する。

- 8. 開催日程
- (1) 出品募集期間 令和元年9月25日~11月30日
- (2) 予備審査 令和元年12月
- (4) 現地調査 令和2年2月26日(水) 埼玉県 山下 徳弥

(付属資料1)

花き技術・経営コンクール審査基準

- 1 立地条件を活かした合理的、安定的な経営であること
- 2 経営に計画性と展望をもち、近代化、拡大化の方向をたどっていること
- 3 消費動向を的確にとらえ、消費者ニーズに応える経営を行っていること
- 4 栽培技術は、科学的基礎に基づき、その水準が高く優れ、改善意欲が盛んなこと
- 5 生産基盤の整備、資本整備の投資がかなり行われ、その利用効率が高いこと
- 6 土地利用及び労働力利用が合理的であること
- 7 生産性が高く所得が水準以上と認められること
- 8 労働軽減等により、ゆとりある農業を実現していること
- 9 環境保全に対する工夫や配慮が見られること
- 10 国際化対応を考慮した経営がなされていること

(付属資料2)

第29回(令和元年度) 花き技術・経営コンクール審査員名簿

氏 名	所 属・役 職
腰岡 政二	日本大学 生物資源科学部 教授
土井 元章	京都大学大学院教授
河野 恵伸	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 企画戦略本部 農業経営戦略部 マーケティングユニット長
長村 智司	一般社団法人フラワーソサイエティ 会長
岡本 正夫	一般社団法人日本花き生産協会 顧問
長岡 求	株式会社フラワーオークションジャパン 取締役 花の広報室長

第29回花の国づくり共励会

花き技術・経営コンクール受賞者の業績概要

令和2年3月発行

編集・発行 一般財団法人日本花普及センター

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-17 山ービル4階

TEL: 03-3664-8739 FAX: 03-3664-8743

